

新型コロナウイルス感染の現状・その2

市川治療室 No.384.2020.08

新型コロナウイルス感染者数、検査数と陽性者数について

厚生労働省「新型コロナウイルス感染症について」から新型コロナウイルス感染の検査数と検査結果が陽性とされた方の東京都のデータは次の通りです。

東京都内で5月11日～18日と7月20日～27日の一週間の検査数と陽性者数を一日当たりに再計算して比較したものが以下のデータです。

- ・ 5月11日～18日 検査数は一日平均 182 陽性者は一日平均 15名
- ・ 7月20日～27日 検査数は一日平均3314 陽性者は一日平均252名

5月時点の検査数に比べて7月現在の一日の検査数は約18倍（182⇒3314）です。そして検査の結果、陽性と判定された人数は約16.8倍（15⇒252）となります。検査数が増えれば比例して陽性者数も増えるということですね。

陽性と判定された方々の「症状」についてですが、7月29日（水）の発表では東京の昨日の陽性者数は266名全員が軽症ということでした（東京FMニュースから）

29日現在、重症の方は22人ということでした。

新型コロナウイルス感染による死亡者数について

7月27日を先頭に一週間の平均死亡者数(読売新聞オンライン・7月27日)

- ・ ブラジル 1071.1人
- ・ アメリカ 914.4人
- ・ インド 760.9人
- ・ メキシコ 648.1人
- ・ イギリス 63.9人
- ・ イタリア 7.7人
- ・ フランス 4.6人
- ・ 日本 1.4人

新型コロナ感染者累計死者数（チャートに見る世界の感染状況から・7月28日更新）

- 米国 147588人
- ブラジル 87618人
- インド 32771人
- イタリア 35107人
- ロシア 13354人
- 中国 4634人
- 日本 996人
- 韓国 299人

検査数に比例して感染者数は増えてますが、日本を含めアジア諸国では感染者が増えても

重症者や死者数が極めて低いことが分かります。

「何」が日本を含めたアジア諸国と欧米諸国との死亡者数の違いの原因でしょうか？

山中伸弥氏（ノーベル賞受賞者）は、その何か＝「ファクターX」を突き止めることが新型コロナウイルス第二波・第三波の備えに重要であると言われてています。

今回は、上久保康彦氏（京都大学大学院特定教授）の新型コロナウイルスに関する「エビデンス」に基づいたコロナ論についてご紹介したいと思います。

新規死者数

インド	708
パキスタン	20
中国	0
日本	0
フィリピン	35
タイ	0
香港	0
ベトナム	0
カンボジア	0
インドネシア	67
ブラジル	1000
アメリカ	1000
イタリア	10

	感染者	死亡者	100万人あたりの死亡者	100万人あたりの感染者	100万人あたりの検査数	康彦氏（内 ア（民報
日本	17141	916	7	136	2486	
韓国	11814	273	5	230	19861	
台湾	443	7	0.3	19	3085	
中国	83016	4634	3	58	不明	
インドネシア	31186	1851	7	114	1511	
フィリピン	21895	1003	9	200	3928	
マレーシア	8322	117	4	257	18864	
ミャンマー	242	6	0.1	4	721	
シンガポール	37910	25	4	6483	69859	
タイ	3119	58	0.8	45	6708	

上記は2020年6月8日付けのworldometersの数字

感染者数は検査数に左右されますが、新型コロナウイルス感染者の多い国（上位5か国）と日本、オーストラリアの感染者数、回復者数、回復率、死亡者数、致死率などの現状は以下の通りです（6月30日現在）（データ元・米国ジョーンズ・ホプキンス大学）

国名	感染者数	回復者数	回復率	死亡者数	致死率
1・アメリカ	2,590,348	705,203	27.22%	126,123	4.87%

2・ブラジル	1,368,195	757,811	55.39%	58,314	4.26%
3・ロシア	640,246	402,778	62.91%	9,152	1.43%
4・インド	566,840	334,822	59.07%	16,893	2.98%
5・イギリス	313,470	1,368	0.44%	43,659	13.93%
53・日本	18,476	16,388	88.70%	972	5.26%
54・オーストラリア	17,723	16,420	92.65%	703	3.97%

新型コロナウイルス感染・発病からの回復と致死について世界平均は以下の通りです。

回復率… 50.8% 5,235,943人（回復者数）÷ 10,302,193人（感染者数）

致死率… 4.94% 505,505人（死亡者数）÷ 10,302,193人（感染者数）

予防としては、インフルエンザと同様、うがい・手洗い・食事・睡眠などが大事といわれています。接触感染予防には手洗い・消毒・物の清潔は重要です。

マスクの効果については賛否あります。オーストラリアでは政府がマスク着用について「あまり意味はない」との情報を出しているためかマスクを着用している人は少ない（ほとんどいない）とのことです（オーストラリアに30年在住している妹の情報）

マスク着用者が多い日本とオーストラリアの感染者数などはほとんど変わりません。

新型コロナウイルスに関するニュースは毎日取り上げられていますが、新型と旧型（従来型）コロナウイルスとの違いについて誰もが考えるところでしょう。

コロナウイルスは風邪のウイルスで、その名称の由来は顕微鏡を見た際、形が「王冠」に似ていることからでギリシャ語で王冠を意味する「コロナ」となりました。

風邪の10～15%（流行期では35%ほど）がコロナウイルスによるものと言われています。

旧型（従来型）コロナウイルスは6種類あり、そのうちの2種類、SARSコロナウイルスとMERSコロナウイルスは動物から感染して重症化傾向がありますが、他の4種類のコロナウイルスにはほとんどの子供が6歳までに感染していると言われています。

旧型（従来型）コロナウイルスによる感染・発症症状は、発熱・咳など一般的な風邪の症状です。

新型コロナウイルスによる感染・発症症状は、発熱、咳、息切れ、筋肉痛、頭痛、喉の痛みなどがあるようです。

インフルエンザウイルスは飛沫感染（空気感染）で広がっていきます（ヒト⇒ヒト）が、コロナウイルスは接触感染で広がっていくと言われています（ヒト⇒物⇒ヒト）

- ・ 日本（ASEAN諸国）の死亡者はなぜ少ないのか？ファクターXは集団免疫か？

- ・ 欧米諸国の死亡者はなぜ高いか？
- ・ 新型コロナウイルスの変異（S型・K型・武漢G型・欧米G型・日本H型？）
- ・ 暴露と再暴露
- ・ 免疫（B細胞の抗体とT細胞のサイトカイン）
- ・ BCG摂取との関係
- ・ 感染者数と相関するのは検査数（死亡者数は無関係）